

Ⅲ 価格の表示に関する特別措置

(1) 平成25年10月1日以降、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保や事業者の値札の貼り替えなどの事務負担に配慮する観点から、表示価格が税込価格であると誤認されないための措置を講じていけば、「税込価格」を表示しなくてもよいとする特例が設けられます。

※ 消費者への配慮の観点から、上記の特例を受ける事業者はできるだけ速やかに「税込価格」を表示するよう努めることとされています。

【具体的な表示の例】

(例1) 値札、チラシ、ポスター、商品カタログ、インターネットのウェブページ等において、商品等の価格を次のように表示する

〇〇円(税込) 〇〇円(税込価格) 〇〇円(本体価格) 〇〇円+税

(例2) 個々の値札等においては「〇〇円」と税込価格のみを表示し、別途、店内の消費者が商品等を選択する際に目に付きやすい場所に、明瞭に、「当店の価格は全て税込価格となっています。」といった掲示を行う

(2) 事業者が、税込価格に併せて、税込価格を表示する場合において、税込価格が明瞭に表示されているときは、景品表示法第4条第1項(不当表示)の規定は適用しないこととされました。

Ⅲ(1)に関する問い合わせ先:財務省主税局税制第二課 03-3581-4111(代表)
Ⅲ(2)に関する問い合わせ先:消費者庁表示対策課 03-3507-8800(代表)

消費税転嫁対策特別措置法施行へ 表示方法に要注意

NEWS, TOPICS, INFORMATION, OPINION & EDITORIAL



安倍首相は十月一日、来年四月に消費税率を八％に引き上げることを発表した。昨年六月、当時の野田首相が法案を提出し可決した案件の施行決定である。消費税は平成元年四月に三％で導入され、その八年後に五％となった。以来、デフレに苦しんできたと言えは寂しいが、実に十七年ぶりの増額となる。

社会保障と日本の財政危機とを焦点に今だ議論もあり、こちらは別の場所に任せるとして、上がることは確実である。さらに、二十七年四月には十％へのアップも予定されている。

これに伴い、「消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正に関する特別措置法」(通称「消費税転嫁対策特別措置法」)が、同日十月一日より施行された。この一気読みが大変な法律の狙いは、簡単に言えば、消費税導入時の二十四年前から発生した諸問題を、商業的弱者を保護しながら解決・明確化しようというところにある。

本件については、警察庁生活安全企画課営業係より当組合に關係資料が送付され、確認を依頼されている。概要は次の通り。

一、消費税の転嫁拒否等の行為の是正に関する特別措置
二、消費税の転嫁を阻害する表示の是正に関する特別措置
三、価格の表示に関する特別措置
四、消費税の転嫁及び表示の方法の決定に係る共同行為に関する特別措置

紙面の都合上、今回は私たちの商取引に関係深い「三、価格表示」についてのみ内容を紹介します。他項目は次回以後に取り上げることにします。

① 値札の貼り替え負担に配慮し「表示価格が税込価格であると誤認されないための措置を講じていけば、税込価格を表示しなくても良いとする特例」で、値札、カタログ、ウェブ等の表示を次の通りとする。(例) 〇〇円(税込)、〇〇円(本体価格)、〇〇円+税

② 税込価格のみ表示し、目に付きやすい場所に明瞭に「全て税込価格となっています」と掲示。

なお、本法案は平成二十九年三月末日まで適用される。

(伊波賢一)

2013.11.15 VOL.14

発行人 深海 信彦
発行所 全国刀剣商業協同組合 編集委員会
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-18-10
新宿スカイプラザ1302
TEL:03(3205)0601 FAX:03(3205)0089
http://www.zentoshou.com

第14号編集担当
赤荻 稔 飯田 慶久 伊波 賢一
大西 芳生 大平 将広 嶋田 伸夫
清水 儀孝 生野 正 土子 民夫
網取 謙一 服部 暁治 藤岡 弘之
松本 義行 宮澤 琢 眞賀 信彦 持田 具宏

〈速報〉「大刀剣市2013」開催



今年も連日盛況だった大刀剣市

第二十六回大刀剣市は、十月二十五〜二十七日の三日間、東京新橋の東京美術倶楽部で開催された。今年も台風の影響発生により大刀剣市初日は、あいにくの雨模様。しかし、オープン前から多くのお客さまが並んでくださっていた。その大半が外国人というから驚き。昨年の大刀剣市は確か一ドル八十四円くらいだったので、今の一ドル九十七円、一ユーロ百三十四円というレートもあって世界各地から来訪されたのだろう。私が対応したのはアメリカ・カナダ・ドイツ・イギリス・ロシア・オーストラリアの方だったが、大刀剣市や、日本刀・武具甲冑・日本文化が今やグローバルな存在であることが素晴らしいと思う。

会場は連日多くのお客さまで賑わい、三日間の入場者は三千人を超えた。

二日目の午後からは天気にも恵まれ、この日から始まった公益財団法人日本美術刀剣保存協会の全国大会との相乗効果も期待され、盛況のようだった。

今年の特別企画では「幕末を彩る刀工達」と題し、幕末の名刀が並べられた。多くのお客さまから「とても素晴らしい刀ばかりだ」「いつかは清麿の大小を持ってみたい」「烈公の実物の刀を見るのは初めてだ」など、賛嘆の声が寄せられ、大変好評だった。

恒例の「現代刀匠による銘切り実演」「我が家のお宝鑑定」も同時開催され、それぞれのコーナーも連日盛況だった。

全国各地から集った出店者の皆さまも、それぞれに競って名品を並べていた。私自身驚いたのは、熊本の阿雲亭さん。お国もののお店の一つは、京都の玉山名史刀さん。お父さんは岡山県で開業するが、京都は息子さんのお店。品良く陳列されており、則重や村正などが多くのお客さまの目を惹きつけていた。

本年も、難病に苦しむ子供たちのために産経新聞社が取り組んでいる「明美ちゃん基金」に大刀剣市も協賛し、会場に募金箱を設置した。出店者の方々や賛同してくださるご来場者から多くの浄財が寄せられたことに、心から感謝します。

三日間という短い期間だったが、盛大かつ安全に遂行することを旨として役員や組合員、スタッフの絶大な尽力があり、今年も無事に終えることができました。皆さん、大変お疲れさまでした。

来年も今年以上にご来場いただき、日本刀の魅力に触れ感動してもらえよう日々精進し、刀剣界発展のため全力で頑張っていきたいと思っています。

(新堀寛将)

刀剣・書画・骨董
和敬堂
土肥豊久・土肥富康
〒940-0088 新潟県長岡市柏町1-2-16
TEL 0258-33-8510
FAX 0258-33-8511
http://wakeidou.com/

美術刀剣・刀装小道具商
やしま
齋藤雅稔・隆久・隆洋
刀装小道具通信販売目録「やしま」
年間10回位発行予定
購読料10回 2,000円(郵便切手可)
〒202-0022 西東京市柳沢6-8-10
TEL 042-463-5310
FAX 042-463-7955

金工・刀身彫刻・修理・諸工作式
柳匠堂
柳村宗寿
岡山市北区平和町二一八
TEL 〇八六-二二三-二二一九
工房 岡山市北区磨屋町七二二
TEL 〇八六-二二三-二二三九
FAX 〇八六-二二三-二二三九

刀剣古美術
三峯美術店
町田久雄
埼玉県秩父市野坂町一十六六一
西武秩父駅連絡通路町久ビル内
TEL 〇四九四-二二三-三〇六七
FAX 〇四九四-二二三-三〇六七

美術刀剣、小道具、武具類の
売買、加工及び御相談承ります
大阪刀剣会
吉井唯夫
大阪市中央区日本橋二一七一
TEL 〇六一六六三二二二二〇
FAX 〇六一六六四四一五四六四

組合こよみ (平成25年9月~10月)

- 9月2日 同美印刷にて「大刀剣市」図録の再校。出席者、清水専務理事・服部常務理事・嶋田理事・生野理事・綱取理事・持田理事・新堀賀将氏・土子民夫氏
- 9日 同美印刷にて「大刀剣市」図録の色校。出席者、冥賀副理事長・清水専務理事・服部常務理事・綱取理事・高橋正法氏・小林君夫氏・土子氏
- 10日 清水専務理事・服部常務理事が組合事務所にて広告掲載につき産経新聞社と打ち合わせ
- 10日 同美印刷にて「大刀剣市」図録の最終校正。出席者、清水専務理事・服部常務理事・土子氏
- 17日 東京美術倶楽部にて組合交換会を開催。参加67名、出来高14,495,500円
- 17日 東京美術倶楽部にて『刀剣界』第14号編集委員会を開催(企画)。出席者、深海理事長・冥賀副理事長・清水専務理事・服部常務理事・嶋田理事・赤荻理事・綱取理事・持田理事・大平将広氏・新堀氏・藤岡弘之氏・松本義行氏・宮澤琢氏・土子氏
- 17日 『刀剣界』第13号入荷
- 23日 生野理事と宮澤氏が会津若松市に出張、「会

- 津まつり」を取材し「大刀剣市」をPR
- 25日 映画「轟動」の鑑賞割引券の案内を発送
- 10月4日 深海理事長と清水専務理事が『やさしいかたな』の件で警察庁保安課を訪問
- 4日 深海理事長と土子氏が『やさしいかたな』につき打ち合わせ
- 8日 生野理事と綱取理事が横浜市内に出張買い取り。組合事務所にて清水専務理事と商品仕分け
- 9日 「大刀剣市」DMを発送
- 11日 東京美術倶楽部にて組合交換会を開催。参加58名、出来高11,377,250円
- 11日 東京美術倶楽部にて第3回理事会を開催。出席16名
- 11日 伊波常務理事が「大刀剣市」開催につき愛宕警察署を訪問
- 15日 事務局の濱崎道代さんが新宿区の古物商講習会に参加
- 24日 東京美術倶楽部にて「大刀剣市」の開催準備
- 25~27日 東京美術倶楽部にて「大刀剣市」を開催
- 26日 京王プラザホテルにて開催された公益財団法人日本美術刀剣保存協会の全国大会祝賀懇親会に理事12名・組合員14名が参加



『やさしいかたな』を 活用しましょう

『やさしいかたな』の改訂版が発刊されました。前回の改訂が二十二年前ですから、内容も大幅な見直しとなりました。登録業務を所管する都道府県教育委員会は、担当部署・所在地など最新の情報に変えました。

また、刀剣の発見届から登録証の交付まで、新しい挿絵を交え詳しく解説しています。一般の方にも大いに参考になるでしょう。最近ではインターネットの普及により、海外に刀剣を輸出する機会が多くなりました。そこで、輸出鑑査証明を取り上げました。その他、刀剣に関する法律Q&Aでもたくさん載せています。まさに便利でお役に立つ冊子です。

■全刀商の活動紹介

刀剣の査定・買い入れ奮戦記

ここ数年来、組合員への交換会開催案内にしばしば「組合員い入れ刀剣の売却があります」と通知が入っていることに気づかれると思います。

「組合が刀を買い入れる」ということに違和感を覚える組合員の方もいるかもしれませんが、また、誰がどのようにして買い入れしているのかも大いに気になるところでしょう。

古来より商売の金科玉条とか鉄則に「利は元にある」「儲けは仕入れにあり」とうたわれていたように、買い入れこそ刀剣商の生命線です。そこにあえて組合員のための組合が「参入」するようになったいきさつについては、経緯が長くなりそうなので次号以後に譲ることとし、今号ではどのようにして買い入れ業務が遂行されているのか、その様子をお伝えします。

まず組合事務所へリターンと電話が入ります。女性事務員がそつなく対応し、評価・査定のみ

か売却も希望なのかを伺います。遠隔地からの連絡もあるようですが、大半は近隣からの問い合わせで「組合へ持参します」という方が多いようです。

評価・買い入れの立ち会いは理事二人以上が輪番でこれに当たると決まっていますが、近くで動きやすい理事に声がかかることが多いようです。

さて事務所での対応ですが、冒頭に評価鑑定料を頂くことになりませんが、売却するときにはそれが不要である旨を伝えます。組合は堂々と評価鑑定料を提示し、頂くことができますが、一般の刀剣店ではできそうできないのではないのでしょうか。

最近では、担当理事に買い入れ心得として、特に登録証を精査するよう呼びかけています。誤記などをこの時点でチェックしておかないと、これを購入した組合員が後々迷惑を被ることになります。

意外なことに、組合理事の名刺を出して話を進めると、相手

りがわかれただけでなく遠隔地から品物をいきなり送付してくることもあり、驚かされます。組合だと安心なのでしょうが、近隣でも、数があるから査定にきてくれということで、出張することも年に数回あります。

最近では、担当理事に買い入れ心得として、特に登録証を精査するよう呼びかけています。誤記などをこの時点でチェックしておかないと、これを購入した組合員が後々迷惑を被ることになります。

直近では当組合発行の『やさしいかたな』を見て、直接問い合わせしてくるケースもあります。(服部暁治)

今回、組合ではご希望の組合員・賛助会員の皆さまに『やさしいかたな』を三十部まで無料にて配布しています(送料のみ受取人払い)。なお、それ以上希望される場合は、一部三十円(ただし五十部単位)にてお分けしていますので、事務局までお申し込みください。

裏表紙には、シールやハンコで取扱店名が明示できるようにスペースを設けています。大いにご利用ください。(冥賀吉也)

出雲大社の平成の大造営と伊勢神宮の式年遷宮で、「新して納めた」御美事神宝の太刀や直刀の握り部分の柄に装飾を施した、刀鍛冶の町・岐阜県関市で初めての大役を終えた。

日本の刀に憧れ、自営の刃物会社で働いていた三十一歳のころから、父親の知人だった橋本道代(山田芳幸)師匠に師事。絹や鹿皮のひもや金具の装飾で刀の反りや見栄えが変わることに気が付いた。「服に合わせた靴を替えるように刀に合った柄があるんや」

ホオノキを一枚組み合わ

出雲大社 伊勢神宮 遠山 康男さん

この人

娘を嫁に出したときの気持ちと同じだった。きつめる。装飾のしるえの幅や締め方まで、細部にまでこだわった。これまでに集めた資料やノートが役立った。文庫の下絵を描き作業前に仕上がりイメージする。

伊勢神宮に納めた二十八振り、古墳時代後期の直刀を模したもので、曾良柱市在住。六十七歳。(成田嘉徳)

【東京新聞】平成25年9月27日。遠山さんは当組合賛助会員

組合事務局から

新事務局員に 濱崎道代さん



事務局の一翼を担ってきた小田島純子さんが、10月24日をもって退職されました。

平成17年7月より約8年間、わが組合の事務や交換会、大刀剣市等々に同志として尽力していただきました。まだまだ一緒に仕事をしたいのですが、一身上のご都合で退職ということになりました。これからもお体を大切にがんばっていただきたいと思います。

新事務局員を紹介します。小田島さんが退職するに当たり、9月1日より濱崎道代さん(写真)が入社されました。濱崎さんには既に5年間、大刀剣市のお手伝いをしていただいています。

濱崎さんは旧富士銀行に約10年間勤務し、退職後はお寿司屋さんの経営に携わった経験があり、一男一女の母親でもあります。湘南産まれ湘南育ち、まさしく湘南ガールです。

そんな経験を生かし、有山智和子さんとともにわが組合の名事務局員になっていただき、末長くお付き合いくださるよう切に願います。(清水儀孝)



風向計

其之十
深海 信彦

先月十月に財務省が発表した七月から九月初の各財務局の経済情勢報告では、全国の景気判断を上方修正し、「緩やかに回復しつつある」としている。それ以前「緩やかに持ち直している」から判断を引き上げたわけであり、「回復」の表現を使用するのは平成十九年十一月以来、五年九月ぶりであるという。

また、同じく十月に日銀が発表した地域経済報告(さくらリポート)は、北海道から九州・沖縄までの全国九地域すべての景気判断を上方修正した。

平成十年代の景気回復が都市部や東海地方に恩恵が集中したのに対して、円安に伴う経済の活性化や安倍政権による積極的な財政支出をテコとして今回の回復は全国に広がったとしており、九地域中、北陸を除く八地域で景気判断に「回復」という文言を使用しており、これはさくらリポートが始まった平成十七年以降初めてという。

特に、長い間低迷していた北海道では、観光業を中心に好調が続いており、道内企業の景況感を示す地域別景況判断は九月調査で平成三年以来、まさにバブル崩壊直前以来二十二年ぶりの高水準という。

このように政府・日銀の発表する最近の景気判断はいずれも上昇気配を見せ、海外景気の下振れに伴う輸出の動向が懸念されるものの、安倍政権が打ち出した大型補正予算などの公共投資が景気の牽引役となり、当面は緩やかな回復の動きが続いていくものと予測されている。

日本経済の現況については、まだまだ実感には乏しいものの、数字の上では久しぶりに明るい見通しの上にあると言え得るが、さし

翻ってわが業界の現況はどのようになっていることができるであろうか。本欄が繰り返し論述していることは、世界経済・日本経済の動向もさることながら、業界自体の平和や安定、そして追い風となる良いニュース、良い人、良い物の出現こそが景気上昇の要因であり、大企業の一年間の売り上げにも満たない業界全体の金とモノの動きは、まさに業界自体の自律的な成長や成熟に負うところが大きいということである。

確かに、日本経済が回復傾向にあることはわが業界にとってもこの上もない勇気をもたらすことであり、このまま堅調に推移してほしいと願うばかりであるが、だからと言って個々の刀剣業者が自動的にその恩恵に与れるわけではないことは言うまでもない。

不況より好況が良いに決まっているが、本来の儲けはあくまでも個人の努力次第であり、その努力が結果するかどうかは、世界や日本の経済情勢よりも、刀剣を取り巻く種々の事情の方がより大きく影響することは繰り返し述べた通りである。

しからば、刀剣界には今、どのような風が吹いているのであろうかと全体を眺めてみると、穏やかな順風ながら時折、自分たちの力では如何ともし難い、例えば制度上の厳しい横風に見舞われながらの道程であると言えよう。

その順風の中心は、何と云っても斯界の総本山と目されている公益財団法人日本美術刀剣保存協会(以下「協会」)の安定と充実である。協会が揺るぎなく運営されている時が刀剣業界の繁栄期であることは過去を振り返るまでもないことであり、改革の成果に期待する声は多い。

一方、業界のカナメである全国刀剣商業協同組合も設立二十六年を経て、徐々にではあるが組織としての態を強固にしつつあり、多くの働ける組合員が活動の中心になって諸事業を進めており、業界内にさらに多くの協力が得られるならば、刀剣界発展の原動力となることは間違いない。

ほかにも静かな追い風が幾つともなくわれわれを後押ししてくれているが、登録証の名義変更に関する難易度の高さが時には、われわれの取引上の逆風ともなっており、大きく足を引っ張っている。善良で、何の落ち度もない新所有者が、変更届出書を送ると、受け付けられない旨の通知が来る。元来、行政側のミスであるはずのこと、その誤記までが届け出をした者の責に有するとは、その他所有者変更に関するマスキミの報道姿勢も諸事情を考慮しない一方的なものであり、厳しい横風となつたことは否めない。

このようなことは、業界の代表である組合と警察・文化庁・教育委員会などで話し合いの場を設け、何らかの改善策を講じない限り、今後ますます、法律・規則を守り従う意思のある人ほど犠牲に遭うという不合理な結果を招くことになる。

気づくままに刀剣界を取り巻く卑近な事情の幾つかを取り上げてはみたが、経済環境の良しあしにも増して、業界内では、取引上の些細な制約や一握りの人間の商売上の行為や浮沈が業界景気を大きく左右するものであることを実感し得るのである。それ故に、世間が好況でも業界事情によっては不況となり、逆に、不景気下であっても、刀剣界内が平穏であれば、われわれの個人的努力次第で好況を導き出すことも可能である。

好・不況の報道に一喜一憂することなく、足元である刀剣界、ひいては刀剣業界の一致団結努力こそ、業界繁栄の要であろう。



右から小林社長・三上監督・深海理事長・筆者

「蠢動」の三上監督が大刀剣市に来訪

当組合が応援している本格的時代劇映画「蠢動」(しゅんど)の三上監督と配給会社太秦(株)の小林社長が十月二十七日、大刀剣市会場に来訪されました。お二人とも盛況振りに、「これほどの賑わいとは思っていません」と驚かれた様子でした。

「蠢動」は武士道をテーマにした映画ですから愛刀家の関心が高く、大刀剣市期間中受付に置いたチラシは多くの来場者がカタログ袋に入れてくれました。宣伝に一役買うことができたのではないのでしょうか。

今回、大刀剣市実行委員会では、話題性アップや刀剣ファンへの掘り起しを狙い、上映と開催期間を同じくする時代劇映画とのコラボレーションを企画しました。皆さまにはポスターの掲示やチケット購入などのご協力、ありがとうございます。これからも業界活性化のために、エンターテインメントとの連携など、さまざまな活動を追求していききたいと思います。(松本義行)



日本刀を介した日英の交流

エディ・登志・ワーサイム (英国在住)



二〇一三年は、日本と英国の歴史において記念の年である。まず、慶長十八年(一六一三)に徳川家康率いる江戸幕府とジェームズ一世統治下の英国政府が貿易開始に合意してから四百年がたち、英国内では「ジャパン四〇〇」と称して、日本への航海や、英国王室と日本側が贈り物を交換したエピソードなど、日英交流がスタートした様子を伝えるさまざまなイベントが開かれている。また今年

は、近年映画化された長州ファイブ、すなわち文久三年(一八六三)に長州藩の五名の若者が極秘留学のために渡欧してから五十年に当たる。

私自身も一九七七年創業の日本古美術店の経営者として、この記念すべき年に日本大使館やジャパン・ソサエティー(日本協会)とともにいろいろな形で貢献させていたたい。日本

の文化・歴史を伝えるイベントに積極的に参加し、日本の古美術品を通して、日本人の芸術性の高さ、繊細さ、心を伝えられるよう努めてきた。

その鍵となる古美術品の一つが、日本刀である。当初、日本刀の交易は非常に厳しく、二〇〇七年英国政府の方針として長さ五〇cm以上の日本刀はいかなるものでも武器と見なし、輸出入不可の方針を採っていた。その後、当局と私たち日本刀関係者との度重なる討論の末、正統な日本刀は美術品として見なされるべきだということに至り、〇八年四月六日の法改正で、一九五四年以前に製作されたもの、または古来の教えに沿った材料(玉鋼など)また方法で製作されたものに限

り交易可となった。ただ、現在でも偽造された安価な日本刀が市場に出回っているため、依然として輸送の際の審査などは厳しく、問題が起ることは決して少なくない。私自身、その問題に対処するために奔走することもあり、これからも日本刀に携わる方々が少しでも容易に国内外で交流できるようにするための努力は惜しまないつもりである。

日英間において、文化交流が未永く続き、相互に繁栄していくことを心から願っています。

エディさんの「ジャパニーズ・ギャラリー」店内

ただ、現在でも偽造された安価な日本刀が市場に出回っているため、依然として輸送の際の審査などは厳しく、問題が起ることは決して少なくない。私自身、その問題に対処するために奔走することもあり、これからも日本刀に携わる方々が少しでも容易に国内外で交流できるようにするための努力は惜しまないつもりである。

刀剣・小道具・甲冑武具
目白 飯田高遠堂
代表取締役 飯田慶久
〒161-0033
東京都新宿区下落合3-17-33
TEL 03-3951-3312
FAX 03-3951-3615
<http://www.iidakoendo.com>

(株)美術刀剣松本
松本 富夫 義行
〒278-0043 千葉県野田市清水199-1
TEL 04-7122-1122
FAX 04-7122-1950
www.touken-matsumoto.jp

美術日本刀・鐔・小道具・甲冑
日本の伝統文化を彩る
JAPAN SWORD CO., LTD.
(株)日本刀剣
伊波賢一 Ken-ichi Inami
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-1
TEL 03-3434-4321
FAX 03-3434-4324

銀座 泰文堂
〒104-0061 東京都中央区銀座4-3-11
松崎煎餅ビル4階
(株)銀座泰文堂 代表 川島貴敏
TEL 03-3563-2551
FAX 03-3563-2553
フリーダイヤル 0120-402037
<http://www.taibundo.com>

刀剣 高吉
古名刀から現代刀、御刀のことならお任せください!
連絡先 090-8845-2222
代表者 高島吉童
東京都北区滝野川7-16-6
TEL 03-5394-1118
FAX 03-5394-1116
www.premi.co.jp

刀 剣 界

平成25年11月15日発行(隔月刊)

ふるさと自慢 第5回

徳島県 江に並ぶ「岩切海部」

藤岡弘之

阿波国(徳島県)の蜂須賀氏は、元は尾張国(愛知県)海東郡蜂須賀郷の豪族で、小六正勝は織田信長・豊臣秀吉に仕え参謀役となって大きな功績を挙げた人です。播磨龍野城(兵庫県)五万三千石を領しました。天正年間の四国征討には、秀吉の命を受けて参戦し、長曾我部元親を降伏させました。

その功により阿波一国を与えられました。その任を子の家政に譲り、後に淡路国と併せた蜂須賀徳島藩は明治維新まで十四代続きました。

阿波国には、海部刀と呼ばれる片切刃造りの脇指が数多く残っています。長さは一尺から一尺五寸くらいまで丸棟となり、桜皮を利用した独特の拵が多く付属します。古くから武士が入山の折、さすがに鉈や斧は持っていけないので、この脇指を差していったのだと言われています。この国には古刀期の刀が少なく、応永ごろの師久



今や全国に知られる阿波踊り(徳島県観光協会提供)

「黒田御家御重宝故実」にも本刀については記述を欠き、「享保名物帳」が出来上がったころには黒田家にもありませんでした。本阿弥家の「名物控」には無代とあり、氏吉の代表作で江義弘に鑑せられると先人が言っています。ふるさと自慢は、岩切海部と阿波踊り、そしてスタチべらいでありますように。

が現存品として一番古いものだとのことです。

蜂須賀家の所蔵では古備前正恒の太刀(国宝)と一竿子忠綱彫同作の刀(重要文化財)二腰が有名ですが、いまだに徳島には帰っていません。

ご紹介したいのは「岩切海部」という阿州氏吉作(長さ二尺八分)の刀です。この一刀は三好長慶家重代で、数度の戦で功名を顕した業物です。「享保名物帳」に所載し、筑前福岡城主黒田家の伝来です。その由来を書いたものが、永井十左衛門直貞の家にあつたそうです。

直貞は下総国古河城主、永井右近太夫直勝の三男で、四千三百石の旗本です。回家に由来書があつたのは、岩切海部を所蔵していたためと思われ、それを本阿弥光室が写し取りました。由来書はその後焼失したので、刀号のいわれなど詳細は不明です。

若者広場 11

下島房宙

先人から学び、受け継ぐ精神

「若者広場」への寄稿のお話をいただいた何を書こうか考えたとき、去る八月二十八日に亡くなられた二十四代藤原兼房(本名・加藤孝雄)大先生が思い浮かんだ。

高校を卒業し、はやる気持ちで二十五代藤原兼房(加藤賢津雄)師匠の門を叩き、右も左もわからず、無我夢中の手探り状態で悩みもがいているときに、大先生はいつも優しく接してく



られた。最初のうちは岐阜弁がわからず、会話もうまくできないかだったが、大先生の目が緩んだ瞬間に笑うという離れ業で乗り切ったり、「で、由君はどう思う」と聞かれれば、「大先生のおっしゃる通りだと思います」とその場をやり過ごしたり。今考えれば、我ながらとんでもない弟子であった(当人は必死)。

愛好家・コレクター紹介

井上欣也さん(群馬県)

●刀も鐔もオートバイも生涯の友

井上欣也さんとの出会いは、今から三十数年前になります。群馬県前橋市の前三百貨店で即売会が催されたときでした。私の丁稚時代でお客様の対応もままならず、そもそも年上の人と話するのが苦手でした。日刀保前橋支部の錚々たる方々もお見えになっていて、その中で熱心に刀をのぞき込んでいら

す刀を作れなかった時代、若いころの仕事のやり方や考えなど、すべてにおいて自分の考え方に喝を入れられる思いだった。

人は大概、今の状況を辛いや感じたり、不満不平を並べ、自分がいかに苦しい状況でがんばっているかを考えてしまう。しかし、辛く苦しかったことをさりと流し、目の前にあることに精いっぱい打ち込む大先輩を見ていて、私は大切なものをもらったと思っ

た。大先生には日曜日や休日といった概念はなく、出かける用事がなければ一日中製作途中の刀や短刀を持って仕事場をウロウロし、仕事(刀)漬けの毎日を送っていた。たぶん仕事を仕事と考えるはず、当たり前前の日常の一部だったと思われる。師匠から「親父の炭切りを手伝ってくれ」と言われ、最初のころ何度かお手伝いしたが、そ

うな年齢で、幼くたどたどしい存在だったのかも知れないが、いつも気にかけてくれて仕事もいろいろと教えてくださった。私は大先生の若いころの話が大好きでよく聴いていたが、大先生がさらっと話

井上さんは今年七十二歳におなりですが、現在もご夫婦で元気に鮮魚店を営まれています。氏は、見幅広く重ねのたっぷりとした新刀・新々刀がお好きで、最初に入手されたのは伊勢大塚源綱の健全な皆焼刃の脇指であったと伺っています。それからは、浜部美濃守寿格の菊花丁子など、個人的な作品を集めてこられました。

半面、刀装具では刀匠・甲冑師・尾張など、鉄物を好まれ、ご自身で手入れをなさるのがこの上ない楽しみだとおっしゃ

のうち大先生はニコニコしながら「自分で使う炭は自分で切る方がリズムが出るからいいよ」と優しく断られた。

聞けば職人として当たり前のお話はかりな方もいらないが、簡単そうに見えるそれを実践している人は少ないと思う。

新聞の訃報に添えられていた鍛錬の写真に先手(大鎚)として写っているのが自分だとわかったとき、なぜか感極まり、ご遺体の枕元で号泣してしまっ

た。大先生には、黙々と理想の刀を求める職人の背中をいつも見せてもらっていたのだと思う。そのことに深く感謝し、励みとして、自分もより一層の高みへと行けるように精進したい。きっとそれが、自分を応援してくれている人たちへの恩返しにもつながると信じて。

■一筆啓上

学生のころから武器マニアで、ナイフや銃、戦車や空母、戦闘機などに興味のある少年時代だったと語る刀匠の下島房宙(本名由さん。中学校の社会科見学とき、東京国立博物館で刀を見て、感銘を受けた。

高校生になって刀匠の存在を知り、夏休みを利用して鍛冶場見学に行き、後の師匠となる二十五代藤原兼房刀匠と出会う。卒業後、岐阜県関市に入門。

を重ねるとともに、乗りこなすのがつらくなってきたからとか。それでもまた二台を操ってツーリングを楽しんでおられます。

依然として好奇心旺盛な井上さんにはまた、頼まれごとも多く、円熟したお人柄もうかがえます。ますますのご活躍をお祈りします。(藤岡弘之)



井上欣也さん(群馬県)

た。

大先生には、黙々と理想の刀を求める職人の背中をいつも見せてもらっていたのだと思う。そのことに深く感謝し、励みとして、自分もより一層の高みへと行けるように精進したい。きっとそれが、自分を応援してくれている人たちへの恩返しにもつながると信じて。

■連絡先 〒367-0247 埼玉県児玉郡神川町元阿保一五四三 ☎0495772355

「現在の一般的な刀のイメージは武器ですが、家を守ったり家族や一族を守ることが本来のコンセプトというのをもっと広く知ってもらいたいと思います。日本刀は本来、注文でその人の好みや体格などに合わせて作るのが理想だとも思っています。嫁入り短刀や霊前の守り刀、そんな生活に密着した刀の文化を盛り上げられたらと思っています」。居酒屋では気さくな一面も見せてくれる三十九歳の刀匠である。(大平将広)

刀剣商リレー訪問 ⑭

新堀賀将さん

若者に侍の魂を

男前でチャーミングな若手刀剣商といえば、皆さん、新堀賀将氏の顔が浮かんでくるだろう。

新堀美術刀剣店は横浜の地にあり、現在は父である新堀孝道氏が店主として店を構える。孝道氏の三男として生まれたのが賀将氏である。父の商売に興味があり、また長男である徹氏も刀剣の世界に進んでいたため、高校を卒業すると、自然とこの世界に飛び込んだ。

某刀剣店での七年に及ぶ修業を通して反面教師的な教育を受け、社会の厳しさを学び成長した賀将氏は昨年、新堀美術刀剣



新堀美術刀剣と賀将さん

に戻り、父である孝道氏の下で刀剣商としての人生をスタートした。それとほぼ同時に生涯の伴侶も得て順風満帆、まさにこれからの若手刀剣商である。賀将氏は新堀美術刀剣では海外とインターネット部門を任されており、世界中に刀剣の魅力伝えてようと日々努力している。

る。グローバルな視点で刀剣界をとらえる賀将氏は、日本の若者の刀剣への関心の薄さを懸念して、「海外の若者にはこんなにも刀剣の愛好家がいるのに、日本の若者は興味がない。むしろ銃刀法のイメージで負の印象が付いて回ってしまう。どうにかして日本人に知ってもらいたい」と刀剣の啓蒙活動について熱く語ってくれた。

そのためにはメディアの力が必要であると考えている。「海外での日本の

侍や刀のイメージはメディアの力によるものです。日本でもメディアの力で若者に侍の魂を呼び戻し、興味を持ってもらいたい。例えば、エヴァンゲリオン展での刀匠とのコラボはテレビや新聞で大きく取り上げられ、皆が興味を持ちました。これからの刀剣界はそういう活動が必要となってくるであろうし、将来的にそういう活動に関わり、刀剣界を盛り上げて、世界的な刀剣ブームを起こせたらこれ以上のごほうびはない」と夢を語る賀将氏の目は真っすぐにこれから刀剣界を見据え、曇りはない。

■新堀美術刀剣 〒241-0802 神奈川県横浜市旭区さしが丘八〇一〇〇四五二六四二八九三 (土肥寛康)

NEWS & TOPICS 公益認定後初の日刀保全国大会開く

公益財団法人日本美術刀剣保存協会では十月二十六、二十七日の両日、協会設立六十五周年・たたら操業



日刀保全国大会にて祝辞を述べる深海理事長

三十五周年を記念して、全国大会を開催しました。主会場を新宿の京王プラザホテルとし、刀剣博物館が第二会場に設けられました。前回の開催は平成二十年十一月であり、五年ぶりの大会となります。なお、公益財団法人移行後初めてであるため、今回を第一回全国大会と位置づけました。国内会員から海外会員まで三百七十三名が出席、それにふさわしい盛会となりました。この両日は、当組合の大刀剣市と同時に開催となり、刀剣業界にとって嬉しく、また国内外にて日本刀を再認識していただくまたとない好機となりました。過去にも同時開催されたことがありますが、海外からのお客さまには、一度の来日で二つの大イベントに参加できる利便性があります。

賀懇親会・現代作家作品展見学・協力団体代表者会議支部長会議などがあり、刀剣博物館特別見学も時間の許す限り参加できるように配慮されていました。京王プラザホテルで初日午後六時から行われた祝賀懇親会には、大刀剣市会場から当組合員二百六十名も駆けつけました。小野裕会長の開式の言葉に始まり、大会出席者の皆さまにお礼が述べられ、ここに会員の多くと再会できた喜びが語られました。前回の全国大会から今年大会開催の間に、未曾有の東日本大震災が起こったため、今回の大会には、全員に特別な思いがあったことと思います。乾杯の発声で協会顧問の饒江英吉様からあり、続いて全日本刀匠会三上貞直会長と当組合の深海信彦理事長から祝辞が述べられました。深海理事長は、「半世紀以上の協会の活動をたえ、盤石な布陣の下に刀剣業界の殿堂である保存協会のさらなる発展を祈願いたします。今後も刀剣界を導きくださるよう組合員一同を代表いたしまして、第一回全国大会開催を心よりお祝い申し上げます」と述べ、組合員の総意を

代表 田中勝憲 (株)城南堂古美術店 古銭 切手・刀剣 売買 評価鑑定 TEL 03-3771-0051 FAX 03-3771-0052

刀職紹介 第13回

川島貴敏



刀匠 竹花一貫斎繁久さん 竹花一貫斎繁久(本名・久司)さんは、昭和二十四年生まれ、六十四歳。高校卒業後は自衛隊に入隊しましたが、もともと物を作るのが好きで、職人の仕事に興味があった竹花さんは、自らの進む道に悩んだ末、四十六年に除隊しました。

その後、高校時代の友人を訪ねた際、そのお父さまが柄巻師の一人、瀬高堂氏で、「近くに刀を作っている所があるから、もし興味があるなら見に行かないか」と誘われ、当時東京・板橋にあった酒井一貫斎政師の工房を見学に行きました。四十八年に同師に入門、五十二年に作刀承認を受け、翌年独立。刀匠銘は師匠の一字「繁」を冠して「繁久」を名乗ります。独立後五年ほどは師匠の仕事場を借りて鍛刀しましたが、五十八年に現在の埼玉県比企郡滑川町に工房を新設しました。

新作名刀展では特賞の薫山賞をはじめ、優秀賞や努力賞を多数受賞、各種イベントにも進んで協力するなど精力的に活動されています。なお、注文料金ですが、刀で百五十万円から、短刀は六十万円からお受けしています。竹花さんは、刀の製作と刀身彫刻を手がける数少ない現代刀匠の一人です。その理由としては、「間口を狭めるのではなく、お客さまからの要望をなるべく多く受け入れられる刀匠でありたい」からだそうです。 ■連絡先 0493550811 埼玉県比企郡滑川町羽尾二二五六一四 電話0493550811

交換会紹介 全国刀剣青年会 四十周年大会を熱海大観荘で開催



熱海大会での交換会の模様

今年の日本列島は、気象において何かと観測史上初といった記録更新が目立つ。例年に比べ、いささか暑さにうんざりされた方も多いのではないだろうか。十月になれば秋の装いも漂ってくるのだが、九月の末になっても一向に落ちない気温は、何か日本の景気を冷ましたままるか!と頑張っているように、むげに嫌うこともできない。

そんな爽秋の九月二十六日、全国刀剣青年会四十周年熱海大会が、定宿である熱海大観荘で盛大に執り行われた。全国美術刀剣青年会の歩みは古く、創立から四十年を迎える。昭和三十三年に、東京美術倶楽部で市場を開いた全国美術刀剣会に続き、四十七年に、将来の刀剣業界で公正遵法の精神をもって活躍する人材を育成する目的で設立された。近年続いた事故のため、その運営は決して楽ではなかったが、歴代の代表幹事はじめ役員たちの下、創意工夫と情熱と実行力で、見事逆境をはねのけてみせた。完全復活ではないかもしれないが、確かな手応えを得ていることは正会員とその実行委員の顔つきを見れば明らかである。今年の代表幹事である後藤一 (大西芳生)

ブック・レビュー BOOK REVIEW

職人の技術や知恵を見守るまなざし

『仕事は心を叩けー刀匠・河内國平 鍛錬の言葉』

聞き書き／山本兼一 本体一四〇〇円十税 集英社



「刀匠河内國平語録」と言ってもよい本『仕事は心を叩け』が集英社から出版された。著者は山本兼一氏である。氏は文壇では知る人ぞ知る「日本刀通」で、『いっしん虎徹』(文芸春秋)、『狂い咲き正宗』(刀剣商)、『屋光三郎』(講談社)...

略)友人の紹介で親方と電話でお話ししたおり「いつでも東吉野にいらっしやい」が御縁だった。それから、折を見て東吉野村に通った。わたしの刀鍛冶の小説は『いっしん虎徹』と題して出版されたが、河内親方とは、その後もいろいろなところへ、ずっとおつきあいをさせていた。...

刀匠の友人である時の人、阿川佐和子氏も推薦する注目の一冊である。私が良いなと思ったところは、「伝統」ではなく「職人を守る」の一節。職人はその手法を全部受け継いで知っているのだから尊いと思う。...

銃砲を総合的・体系的に解明した研究成果

『日本銃砲の歴史と技術』

宇田川武久 編著 本体五六〇〇円十税 雄山閣

日本における銃砲の流行は、天文年間の伝来から明治二年の古流武芸停止令まで約三世紀余にわたるが、鉄砲伝来、長篠の戦、高島秋帆の西洋流砲術といった個別の歴史事象が話題に上るものの、その歴史の流れ全体を跡づける論著はこれまで見られなかった。...

このような現実を踏まえ、日本銃砲学会では半世紀にわたる活動の成果を基に、その総力を挙げて日本における銃砲・砲術の伝来から展開そして終焉に至る歴史の側面と、工学・化学的研究に基づいた技術的側面からその全貌解明に挑戦したのが本書である。...

清堯の鉄砲銘からみた武家の序列、⑤初期江戸幕府の西洋砲の導入、⑥高島流・西洋流砲術伝授の形式と伝播について、⑦ペリー来航前後の鉄砲鍛冶と幕臣の和洋調練、⑧明治郵便開期の通達制度と短銃配備、⑨西南戦争の陣地の性格、の九論考。...



と四本のコラムを掲載し、銃砲のすべてを多角的に理解できるように構成されている。編著者の宇田川武久氏は国立歴史民俗博物館名誉教授で、『鉄砲伝来』(中公新書)をはじめ、鉄砲史や水軍史に関する多数の著書がある。...

数奇な運命をたどった名刀を訪ねて

『織田信長・豊臣秀吉の刀剣と甲冑』

飯田意天 著 本体三八〇〇円十税 宮帯出版社

ある名刀収集家は「なぜ名刀に魅入られるのか」の問いに、歴史的背景を知り得ること、日本人の精神性が染み込んでいくことの二つを挙げてくれた。戦国期の武将たちが名刀に魅入られた理由は、それらに加えて権力の具現化でもあったかと思われ、そうでなくても武将

たちの名前を冠した名刀は枚挙にいとまがない。既に周知のものも多いのだが、ここでは武将たちの刀剣・甲冑そのものを視界の起点とし、その運命をひもといている。本能寺の変、大坂落城という二つの歴史上の段落を通過する数奇な運命の名刀たちは、焼け身となった後、再び刃を、また歴史

上の人物の元を渡り歩く。そんなストーリーを、長い余暇の時間の中で刀剣の知識の再確認とともに空想する。そんな読み方はいかかだろうか。この図書も避けては通れなかった俗稱七騎の具足色々威二枚胴具足(朱銘・林孫四郎)は伝えられている製作年代は桃山期であるものの、当世具足の黎明期のものでしょうかより切付札

蝶番、前立に形式化された三つ鍬形、そのフォルムから当世具足の確立期のものではあるまいかという疑問を抱く甲冑数奇者もいよう。そこはアンタツチャブルとせすに元禄期の岩井孫四郎同一人物の仮説も記して興味深い。著者がスペインのマドリッド王宮武器庫に小笠原信夫氏・河端孝孝氏・三浦公法氏らを訪れたとき



信長・秀吉の刀剣・甲冑・武具の集大成

六百名の武者が繰り広げる時代絵巻「会津まつり」

去る九月二十三日、福島県会津若松市で開催された「会津まつり」先人感謝祭・会津藩公行列に、編集委員会の取材で行ってきました。このお祭りは、今年の大河ドラマの舞台になった鶴ヶ城を主会場に長らく行われていた先人感謝祭・会津藩公行列です。...



鶴ヶ城を背景に執り行われた先人感謝祭会場に会津鶴ヶ城太鼓が鳴り響く

今回、当組合には会津市観光協会のご厚意で催事情報のスベイスを頂戴し、大刀剣市の告知を『刀剣界』を配布させていただきました。こういった時代祭りが全国至る所で開催されているように、全刀商としてこれらの催事を普及啓蒙活動の機会ととらえることも重要な課題であると感ぜさせられたお祭りでした。...

各所では奴隊による毛槍の所作も披露され、沿道を埋め尽くす観客の声援の中、祭りはそのクライマックスを迎えました。藩公行列に参加している方たちは模造刀を腰に差し、勝ときを上げるなど完全に役になりきり、刃りは幕末にタイムスリップしたかのような雰囲気。観客数の多いお祭りです。(宮澤琢/生野正)

「宮入法廣作刀展二〇一三」開く

「宮入法廣作刀展二〇一三」が十一月十日、東京銀座の松崎画廊にて開催された。宮入刀匠は昭和三十一年、長野県坂城町生まれ。国学院大学卒業後、人間国宝関正峯師に師事。平成七年、日刀保の新作刀展覧会無鑑査に認定され、同十二年には作刀界最高峰の正宗賞を受賞、翌二十三年、長野県無形文化財に認定された。...

作刀40年に及ぶ宮入法廣刀匠の個展会場は、同様に華やかな子乱る。初期には師同様の刀匠の今後の大なる活躍を祈念した。(賀賀吉也)

特別寄稿

エヴァンゲリオンから戦国アバンギャルドへ

内藤直子(大阪歴史博物館学芸員)

特別展「戦国アバンギャルドとその昇華 変わり兜×刀装具」に寄せて

特別展「戦国アバンギャルドとその昇華 変わり兜×刀装具」の企画を考えたのは今から二年前のこと。社会には閉塞した気分が漂い、大阪市では橋下徹市長が当選したころでした。何か元気になるような、市長を唸らせるような企画をと考え「変



「撮影自由」も好評だった「エヴァンゲリオンと日本刀」最後の兜展だと思っていま

いませんし、今回が最初で最後の兜展だと思っていま。しかし、それでも封印を解くことを選んだのは、自信を失いつつある今の日本人に、先人たちのすばらしい遺産を知ってもらい、アイデンティティを取り戻してもらいたいという一念でした。ただ、私は兜の専門家ではありませんので、ライフワークとする刀装具と組

み合わせることでオリジナリティを出すことにしました。当初は刀装具のことが気持ちの中心にありましたが、どんどん兜の魅力に引き込まれていき、突き動かされるように日々が過ぎていきました。佐倉の歴史から借りれば簡単でしょうが、それではこれまでと同じ。章立ても意匠別ならこれまでと同じ。同じことをやっても意味がないので、なるべく展示歴の少ないものを新しいテーマで構成することに力を注ぎました。

無知というのは恐ろしいもので、幸か不幸か、兜の知識がなかったがゆえに、自由な発想を広げることができました。刀装具の方では、変わり兜と競わせているうちに、当初想定してなかった「変わり鞍」のコーナーが充実しました。その一部はチラシ(当館HPからダウンロードできます)やブログでもご紹介しています。

「エヴァンゲリオンと日本刀」展開催の打診を受けたのは兜展開催の決定後でした。当初は消極的だったのですが、長船の展示を見て考えが一転しました。というのも、今回の変わり兜展は、優れた遺産の紹介にとどめるのではなく、それを現在に近づけるつもりで絶対的に持っていきたいと思っていました。まさにその「過去の技術力を現在の形にする」のがエヴァ展だったからなのです。

開催前は内外から冷ややかな声も受けましたが、展示を見ていただくだけでも、SPRING-8研究施設を利用し、かつて日本刀の素材としても使われたことのある南蛮鉄を非破壊で三次元的に詳しく調査した報告もありました。個人的には、日本刀に中性線を当て、非破壊で分析調査した北大の研究者の報告に興味を覚えました。

最近、大阪歴史博物館の活動が目覚ましい。果敢な挑戦で見事に集客に成功しているのだ。現在開催されている「エヴァンゲリオンと日本刀」は備前長船刀剣博物館で始まり、内外の冷やかな前評判を見事に覆して大ヒットを成し遂げた。そのあまりの人気ぶりに、私も私も全国の美術館が手を挙げ、現在では全国八カ所(岡山・愛知・広島・札幌・福岡・大阪・岐阜・東京)での巡回が決まり、

歴史を伝えるコーナー、特に「刀身の重さを体感する」と銘切りは好評でした。エヴァ展からの流れの中で「変わり兜×刀装具」展に入っていることは予想外の幸運でしたが、みんなを驚かせよう！というもくろみはエヴァ展の衝撃の陰に隠れてしまいました(笑)。この規模の変わり兜と刀

若い来館者が多く見られた(特に若い女性が多い)ことには驚かされた。今までは伝えるのが難しかった若年層に、日本刀文化を親しんでいただく絶好の機会となったことは非常にありがたい。

熱意あふれる企画運営でヒットを続ける新進気鋭の学芸員、内藤直子さんのこれからの活躍にも注目したい。次回の「戦国アバンギャルドとその昇華 変わり兜×刀装具」も楽しみみである。会期は十一月二日(土)〜十二月八日(日)。(飯田慶雄)

躍進する大阪歴史博物館

大阪歴史博物館はいち早く開催を決め、夏休み期間中の開催期間を取得、来場者は最終的に五二、六七三人と記録的な数字を達成したという。

この秋はぜひ、大阪歴史博物館の「変わり兜×刀装具」をごらんいただきますよう、お知らせの皆さまにもお口添えください。

イベント・レポート

第八回金属の歴史国際会議

日本刀を含む金属のさまざまなテーマを研究発表

九月十一日から十五日までの五日間、奈良県文化会館で第八回金属の歴史国際会議(BUMAG)が開催されました。

この会議は、鉄、貴金属である金や銀、そして銅とその合金など、人類がこれまで利用してきたあらゆる金属について、その鉱石の採取法・製錬法と金属の加工法、さらにそれらを用いた製品である刀剣・武器・硬貨や工芸品などについて、洋の東西を問わず幅広く研究発表する国際会議です。

これまで、中国・インド・日本・韓国のアジアを中心に四年に一度開催されてきており、日本では第四回

以来十六年ぶりの開催となりました。前回の日本での開催は、たたら製鉄が盛んだった高根県での開催ということもあり、たたら製鉄や日本刀について多くの研究報告がありました。

私も日立金属の研究チームの一員として、短刀九振を作成し、各種鉄素材が日本刀の地鉄に及ぼす影響について詳しく分析発表する機会を得ました。今思えば、この研究への参加が、私がたたら製鉄を本格的に研究し始めたきっかけだったように思います。

今回は、巨大な青銅製の鋳造物として有名な奈良の大仏様のおひざ元



砂鉄中の酸化チタンの役割について発表する筆者

日本刀関係では、たたら製鉄や砂鉄の還元性に関する研究、鍛錬や節し鉄の浸炭・脱炭の反応機構の解析

などに加え、Spring-8研究施設を利用し、かつて日本刀の素材としても使われたことのある南蛮鉄を非破壊で三次元的に詳しく調査した報告もありました。個人的には、日本刀に中性線を当て、非破壊で分析調査した北大の研究者の報告に興味を覚えました。

私はというと、たたら製鉄で銑鉄(ヘク)を生産するには、これまで不純物と考えられていた砂鉄中の酸化チタンが非常に重要な役割を果たしており、酸化チタンを多く含む砂鉄を赤目砂鉄と定義すべきであるという考えを発表しました。

三日間の研究発表を終え、四日目はフィールドワークとして、参加者が二台のバスに分乗し、奈良県無形文化財保持者である山内貞利刀匠と河内國平刀匠の鍛錬場をそれぞれ見学しました。そして最終日の午前中に橿原考古学研究所を見学し、すべ

刀文協「刀職者実技研修会」

より良い仕事をお客さまと共有したい

八月二十三・二十五日の三日間、長野県・坂城町中心市街地コミュニティセンター多目的ホールを会場に、公益財団法人日本刀文化振興協会(刀文協)主催、坂城町鉄の展示館協力により「平成二十五年刀職者実技研修会」が開催されました。

昨年同様、私は友人と一緒に参加させていただきました。二人とも刀職者実技研修会の日程を優先に他のスケジュールを調整し、今年も参加できたことを喜んでいました。

かした地域活性化事業に採択され「刀匠のまち『坂城』の文化遺産活用・活性化事業」の一環として実施されること、文化庁伝統文化課・佐藤直子調査官、坂城町・山村弘町長にご臨席いただき、賑々しく開会式が行われました。

研修は作刀・研磨・白鞘・白銀・柄巻きに分かれて行われたのですが、その講師陣たるや各分野で日本を代表する超一流の先生方であり、最高の環境で研修が始まりました。

この研修で習ったことや学んだことを自分だけにとどめず、仕事の段取り、難しいところ、見どころなどをお客さまにお伝えしていくと思っています。お客さまに仕事の良さあしをわかっていただき、一緒に成長していくことで、より良い仕事、より良い技術が伝わっていくように思います。

研修終了後は信州の地酒、ビール、地元馬刺し、和牛、そば等おいしいものをいただきました。諸先生、諸先輩の貴重なお話を伺うことがで

催事情報

「エヴァンゲリオンと日本刀展」国内最後の巡回展

東京・上野の森美術館(☎03-3833-4191)にて開催
11月23日(土・祝)～12月23日(月・祝) 会期中無休
来年のヨーロッパ巡回展も決定

坂城町鉄の展示館

〒389-0601 長野県埴科郡坂城町坂城6313-2 ☎0268-82-1128

人間国宝宮入平誕生100年記念 宮入平展

刀匠のまち「坂城」の礎を築き、長野県で唯一の人間国宝だった故宮入平刀匠の生誕100年に当たる今年、宮入刀匠の顕彰施設として誕生した鉄の展示館において、刀匠の製作した作品を展覧します。

館所蔵品に加えて、坂城町および長野県内で宮入刀匠の作品を所蔵する方々から借用した作品40点余りを、昭和12年から亡くなる52年までの40年間にわたる作刀人生を追って展示し、宮入平の全体像を浮かび上がらせます。

鉄の展示館としては、過去最大の宮入刀匠の個展となります。

会期：11月2日(土)～12月8日(日)



大阪歴史博物館

〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32 ☎06-6946-5728

特別展「戦国アバンギャルドとその昇華 変わり兜×刀装具」

変わり兜とは、さまざまな物象を立物などで飾ったり、鉢自体を何かの形に作り込んだりするなど、ユニークな造形で人目を惹く兜を総称して呼び習わしていますが、そのバラエティに富んだ造形は、今日の私たちの目をも楽しませてくれるものです。一方、戦国時代から江戸時代にかけて、刀の外装、ことに鐔などの装剣金具類の世界では、所有者のステータスを表すべく、贅を尽くした細工の数々が施されるようになり、その高い技術と豊かな造形は、現在、サムライ・アートとして海外でも高い人気を博しています。

今回の展覧会では、戦に臨んだ武将たちの緊張感から紡ぎ出された究極の形としての変わり兜や、泰平の世に開花したデザイン性の強い変わり兜、極小の世界に壮大な世界を繰り広げる多彩なデザインの刀装具など約250点を展示します。

また本展覧会にちなみ、関西大学名誉教授で、考古学の大家であった故・末永雅雄氏が収集した刀装具のコレクションを初公開します。

主な展示構成は次の通り。

- ①威厳と異形 戦国武将と異形兜／戦国の世の刀装具
- ②桃山から江戸へ 御道具としての甲冑／お抱え金工

の世界

③鉄の造形

鉄打出兜の造形／鉄透鐔の展開

④技術の爛熟とリアリズムの追求

変わり兜の造形力／多彩な彫金／華麗な鞘塗

〈特別出品〉初公開・末永雅雄コレクション刀装具

会期：11月2日(土)～12月8日(日) 毎週火曜日休館



選りすぐりの清磨作品約50点が並び

ら自刃す
られな
って称
異名を
正名を
し、四
文を創
独自の
を構え
に鍛冶
り、四
江戸に
「第三
「第三
源清磨
の誕生
は、

村田清風を通して秋に招かれ、備前
の境地を開いた変革の時代を。
「第三章、源清磨の誕生」では、
「第二章、秋へ」では、秋藩士・
村田清風を通して秋に招かれ、備前
の境地を開いた変革の時代を。
「第三章、源清磨の誕生」では、

長野県信濃美術館

〒380-0801 長野市箱清水1-4-4 (善光寺東隣) ☎026-232-0052

生誕200年記念 山浦清磨展—信濃が生んだ天才刀工

信州に生まれ、幕末期の刀工の中でも高く評価されながら、42歳で死去した山浦清磨(1813～55、源清磨)の生誕200年を記念して、県宝をはじめとする代表作を展示します。清磨は、同じく刀工である兄、山浦真雄の影響を受けて刀の製作に打ち込

み、江戸末期には800年にわたる日本刀史上最高の名工と称され、「四谷正宗」とも呼ばれました。今回の展覧会は、短くも激しい生涯の中で生み出された清磨の名品をご覧いただけます。

会期：11月9日(土)～12月10日(火)

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3-12-1 ☎0776-21-0489

開館60周年記念・秋季特別展 甲冑の美

越前松平家伝来の品を中心に、多数の甲冑とその周辺資料を展覧し、越前明珍派や長曾祢庸徹が属した長曾祢鍛冶など、越前で活躍した甲冑師たちにも注目しつつ、現代人のセンスをも刺激する、武将・大名たちの「晴れの衣裳」に込められた技と美を紹介します。

福井ゆかりの甲冑を一堂に集めるという点では空前の規模の展覧会となります。ご来展の皆さまには、これら甲冑の美を通して、当時の武家の心意気、さらに日本、また福井の先人の手仕事の素晴らしさをご堪能いただきたいと思います。

会期：10月11日(金)～11月24日(日)

春日大社宝物殿

〒630-8212 奈良市春日野町160 ☎0742-22-7788

国宝甲冑修理記念特別公開 刀剣と甲冑—春日大社の誇る名品を一堂に—

春日大社には、全国に知られる著名な鎧や刀剣が伝わっています。中でも国宝の赤糸威大鎧2領と国宝の黒韋威矢筈札胴丸は、日本の鎧の最高峰です。これらの鎧3領が昨年度までに修理を終え、華麗で勇壮な姿を取り戻しました。本展示はその姿を揃ってご覧いただく初めての機会です。

これに合わせ、鎧と同時代の鎌倉～南北朝時代の刀剣を中心に春日大社の誇る武器武具を一堂に展示します。

ぜひこの機会にご拝観ください。
会期：10月17日(木)～平成26年2月26日(水)

- 出品物：
〈甲冑類〉
赤糸威大鎧(竹虎雀飾) 国宝 鎌倉時代
赤糸威大鎧(梅鶯飾) 国宝 鎌倉時代
黒韋威矢筈札胴丸 国宝 南北朝時代
黒韋威胴丸 重文 南北朝時代
龍膽文透彫鎧金具 鎌倉時代
籠手 国宝 鎌倉時代

- 鎖籠手 室町時代
中立拳髯当 室町時代
踏込佩楯 室町時代
〈刀剣類〉
沃懸地酢漿紋兵庫鎖太刀 国宝 鎌倉時代
沃懸地酢漿平文兵庫鎖太刀 国宝 鎌倉時代
金装花押散兵庫鎖太刀 国宝 南北朝時代
菱作打刀 国宝 南北朝時代
錦包太刀 重文 鎌倉時代
三鈷柄藤巻剣 重文 鎌倉時代
赤銅造太刀 重文 鎌倉時代
金銅柏文兵庫鎖太刀 重文 南北朝時代
梅花皮腰刀 重文 南北朝時代
柏木菟腰刀 重文 南北朝時代
菊造腰刀 重文 南北朝時代
梅花皮柄黒漆太刀 重美 南北朝時代
黒漆山金作太刀 重美 南北朝時代
太刀身 銘「家助」重文 室町時代
沈香柄木地漆鞘太刀 重美 南北朝時代
梅花皮包腰刀 重美 南北朝時代

佐野美術館

「生誕200年記念 清磨—幕末を駆け抜けた孤高の刀工—」を見て

世上「四谷正宗」とたたえられた幕末の天才刀工、源清磨の生誕200周年を記念し企画された展覧会が、満を持して静岡三島の佐野美術館で始まった。

本展覧会は佐野美術館を皮切りに、長野県信濃美術館・秋博博物館・根津美術館を巡回する。
八月三十一日、佐野美術館では、東京スカイツリーの設計者として知られ、彫刻家で東京芸術大学元学長澄川喜一氏ら各界の名士多数を集めてレセプションが開かれ、巡回展は華々しくスタートした。



夏休みを返上して研修に参加

さしていただきたいと思っています。最後にありがとうございました。このような機会をつくっていただいた文化庁、刀文協の関係者の皆さま、貴重な時間を割いて指導してくださった先生方、私たちを温かく迎えてくださった山村町長、坂城町の皆さま、準備から運営、そのほかいろいろなお世話いただいた宮入平先生はじめ一門の皆さまには、あらためてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。
(蔵屋はしもと・橋本建一郎)

愛刀家垂涎の展覧会であるとしても、日本刀文化の啓蒙という点においても非常に貴重な機会である。今回、全国刀剣商業組合は図録二冊を引き受け、本展を応援しています。われわれ刀剣商もこの素晴らしい図録を店頭に並び、ご来店いただいたお客さまにお勧めすることにも、各地巡回展へのお出掛けを積極的に誘いするなど、啓蒙活動の一助としたいと切に願います。
なお、佐野美術館の会期は十月六日までで、十一月九日からは長野県信濃美術館での開催となります。
(飯田慶雄)